



平成24年12月号



# 概況

---

最近の県内経済は、生産活動や個人消費に一服感がみられる。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は百貨店、スーパーともマイナスに転じた。自動車販売は、登録車、届出車合計が13ヶ月ぶりのマイナスとなった。

住宅建設は持家、貸家が大幅に増加し、全体では2ヶ月連続のプラスとなった。公共投資は独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村が減少し、4ヶ月ぶりのマイナスとなった。

生産関連の動きをみると、鉱工業生産指数は前月比9.7%低下の96.0となった。一次産業関連をみると、24年県産リンゴ販売は、県外出荷量が前年同月比増加したものの、消費地市場価格が低下し、県外市場販売額は幾分減少した。八戸港水揚げは数量、金額とも減少した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比横バイの0.60倍となった。新規求人数が19ヶ月連続のプラス、有効求人数も33ヶ月連続のプラスと、緩やかながら改善の動きが続いている。

**個人消費** 10月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比0.8%減となり再びマイナスに転じた。業態別では百貨店が同1.5%減、スーパーが同0.6%減と、ともにマイナスに転じた。10月の**自動車販売台数**は、登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比3.6%減と13ヶ月ぶりのマイナスとなった。登録車が同8.2%減と2ヶ月連続のマイナス、届出車は同2.9%増と13ヶ月連続のプラスとなった。

**住宅投資** 10月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比39.8%増の636戸と2ヶ月連続のプラスとなった。持家が同21.2%増、貸家が同75.0%増とそれぞれ前年同月を大幅に上回ったほか、給与住宅、分譲住宅も増加した。

**公共投資** 10月の**公共工事請負額**は全体では前年同月比9.9%減の147億7,100万円となり、4ヶ月ぶりのマイナスとなった。独立行政法人等が同約4倍となったものの、国は同22.4%減、県は同5.3%減、市町村は同3.4%減となった。

**一次産業** 農林水産省の発表によると、**24年県産米**の相対取引価格(24年10月)は「つがるロマン」が前年同月比13.9%上昇、「まっしぐら」が同14.5%上昇となった。公表銘柄のうち上昇幅は「まっしぐら」が2位、「つがるロマン」は3位となった。10月の**24年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比22.2%増となったものの、消費地市場価格が同19.3%低下し、県外市場販売額は同1.6%減となった。10月の**八戸港水揚げ**はスルメイカや機船底引き網漁が落ち込み、数量が前年同月比35.5%減、金額が同36.0%減となった。

**生産活動** 9月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、前月比9.7%低下の96.0となった。原指数では前年同月比2.9%低下の100.8となった。食料品は全体にやや弱めの動きがみられる。一般機械、電気機械は海外経済減速の影響などから、このところ弱めの動きがみられる。

# 一 次 産 業

## 米

### 県産米の相対価格、前年同月比約 14%上昇

農林水産省が発表した「平成 24 年産米の相対取引価格(平成 24 年 10 月)」によると、県産米の相対取引価格は「つがるロマン」が前年同月比 13.9%上昇、前月比 1.1%上昇の 1 万 5,579 円/玄米 60kg、「まっしぐら」が前年同月比 14.5%上昇、前月比 1.3%上昇の 1 万 5,357 円/玄米 60kg となった。

公表された 52 銘柄の平均価格は 1 万 6,579 円/玄米 60kg となり、前年同月比 9.4%上昇(比較可能な 23 年産 30 銘柄との比較)した。価格が最も高かったのは新潟「コシヒカリ」で同 5.6%上昇の 2 万 4,021 円/玄米 60kg であった。また、上昇幅が最も大きかったのは、山口「コシヒカリ」の同 16.0% 上昇で、「まっしぐら」は 2 位、「つがるロマン」は 3 位であった。

平成24年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種	24年9月	24年10月	前月比	23年10月	前年同月比
青森	つがるロマン	15,404	15,579	1.1%	13,680	13.9%
	まっしぐら	15,160	15,357	1.3%	13,417	14.5%
岩手	ひとめぼれ	15,829	15,893	0.4%	14,150	12.3%
宮城	ひとめぼれ	16,384	16,413	0.2%	14,821	10.7%
秋田	あきたこまち	17,020	16,942	-0.5%	15,384	10.1%
山形	はえぬき	16,451	16,302	-0.9%	14,524	12.2%
福島	ひとめぼれ	15,929	15,781	-0.9%	13,932	13.3%
北海道	ななつぼし	15,366	15,383	0.1%	13,924	10.5%
全銘柄平均価格		16,650	16,579	-0.4%	15,154	9.4%

相対取引価格… 全国出荷団体、年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格)

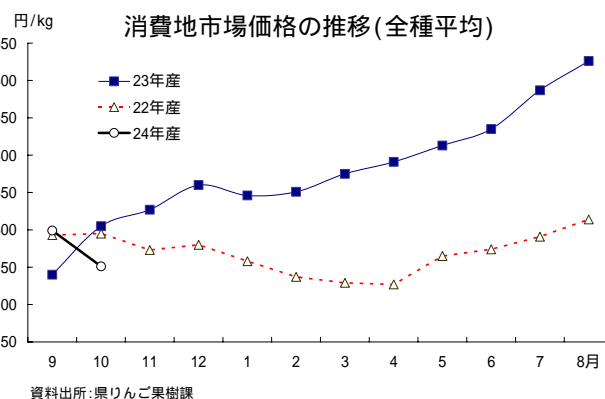
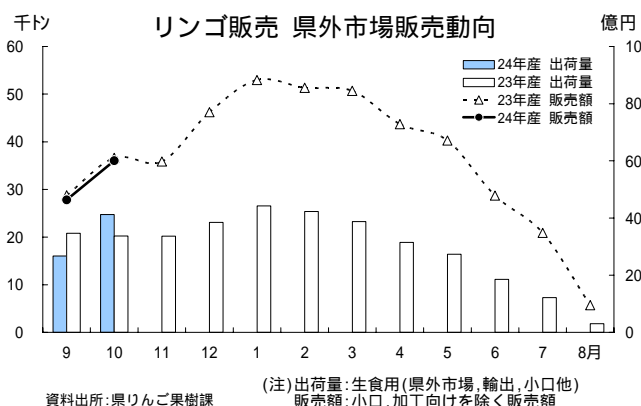
資料出所:農林水産省

## りんご

### 消費地市場価格、前年同月比 19.3%低下

24 年県産りんご販売、10 月の県外出荷量は前年同月比 22.2%増の 2 万 4,727 トンとなった。これは前 3 ヶ年の 10 月平均出荷量を 10.6%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比 26.0%低下、前 3 ヶ年比較で 14.7%低下の 162 円/kg となった。一方、消費地市場価格は「つがる」が前年同月比 3.3%低下の 236 円/kg、「早生ふじ」が同 25.2%低下の 270 円/kg となり、合計では前年同月比 19.3%低下、前 3 ヶ年比較で 8.6%低下の 246 円/kg となった。この結果、県外市場販売額は前年同月比 1.6%減、前 3 ヶ年比較で 3.0%増の 60 億 3 百万円となった。

24 年産県産りんごの市場価格は、「つがる」の入荷が 10 月にずれ込んだことや、中生種のリんごが市場で多く出回っていること、ミカン、カキなどの競合果実の入荷と重なったことなどから前年を下回る値動きとなった。

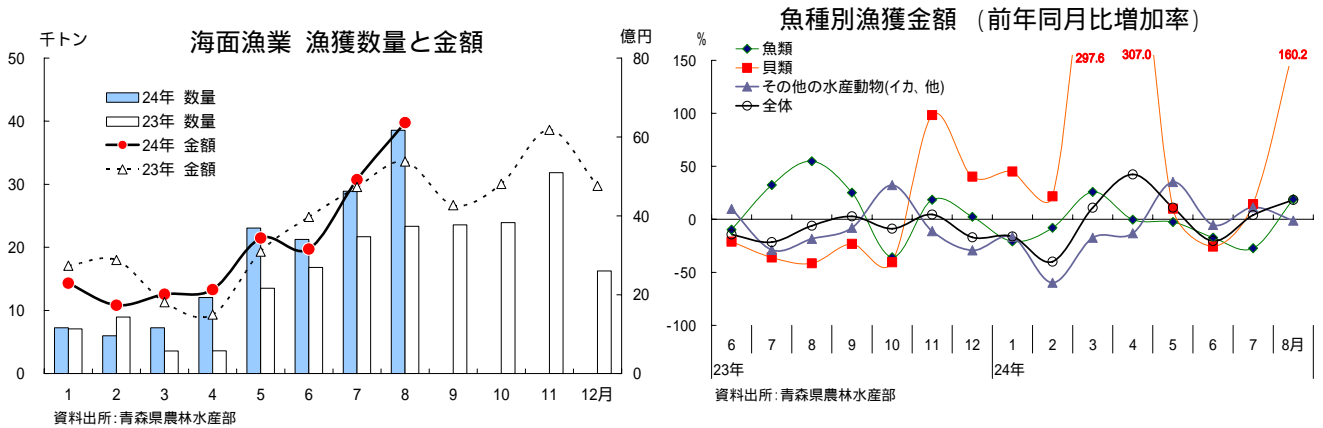


## 海面漁業

### 数量、金額ともプラス、価格は全体に伸び悩み

8月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比65.2%増の3万8,559トン、漁獲金額は同18.4%増の63億6,382万円となった。全体に価格が伸び悩み、金額の増加幅は数量を下回った。

魚種別にみると、「魚類」はサバの水揚げが大幅に増加したほか、イワシ、マグロなども増加し、数量が同92.0%増の1万5,958トン、金額は同19.0%増の18億7,249万円となった。「貝類」はホタテガイ(半成貝、新貝、成貝)の水揚げが大幅に増加し、数量が同339.1%増の8,519トン、金額は同160.2%増の11億2,983万円とそれぞれ大幅に増加した。イカなどの「その他水産動物」はアカイカ(近海)、近海スルメイカが好調となり、数量が同6.0%増の1万3,331トンとなったものの、金額は同1.2%減の31億2,546万円と前年を幾分下回った。

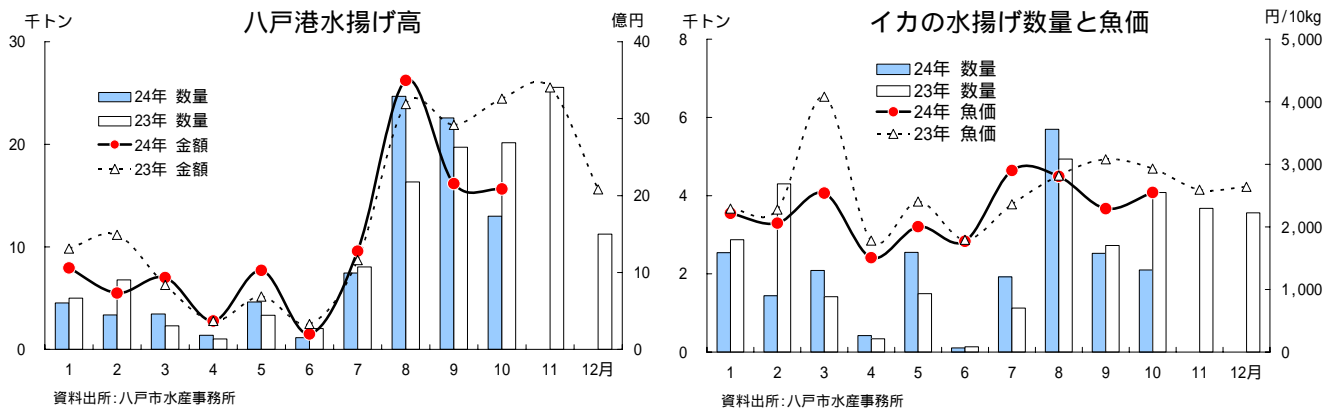


## 八戸港水揚げ

### 金額、数量とも前年同月比減

10月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比35.5%減の1万2,995トン、金額は同36.0%減の20億8,622万円となった。

イカ釣り漁は船凍スルメイカの水揚げが大幅に落ち込み、数量が同49.5%減の2,097トン、金額は同55.3%減の5億3,499万円となった。平均単価は小型サイズの水揚げが多かったことなどから、同13.0%低下の2,551円/10kgとなった。大中型旋網漁は数量が同17.1%減の8,261トンとなったものの、魚価の高いマサバの割合が多かったことから金額は同21.4%増の11億1,435万円となった。機船底引き網漁はシケの日が多かったことから、数量が同69.4%減の1,315トン、金額は同66.6%減の2億8,599万円と大幅に落ち込んだ。



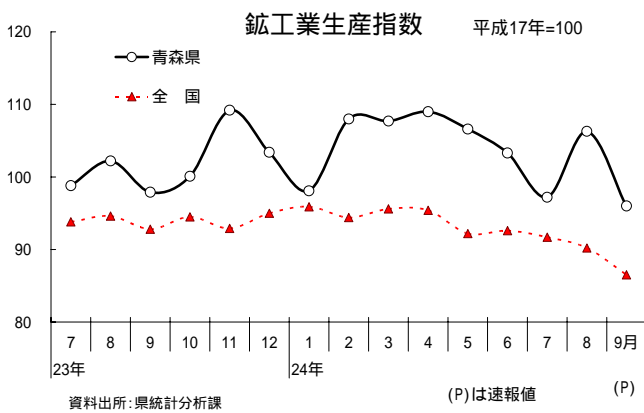
## 二 次 産 業

### 鉱工業生産

### 鉱工業生産指数、前月比 9.7%低下の 96.0

9月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は、前月比9.7%低下の96.0となった。主要6業種をみると、ウェイトの高い食料品が同20.5%、一般機械が同11.3%、鉄鋼が同2.8%、パルプ・紙が同6.5%、電気機械が同5.9%それぞれ低下した。一方、電子部品・デバイスは同2.4%上昇した。このほかでは化学が同48.8%、金属製品が同12.5%それぞれ低下し、窯業・土石は同4.4%上昇した。原指数では前年同月比2.9%低下の100.8となった。

全体に持ち直しの動きに鈍さがうかがわれる。食料品は全体にやや弱めの動きがみられる。一般機械、電気機械は海外経済減速の影響などから、このところ弱めの動きがみられる。



業 種 ( )内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原 指 数	
	平成17年 =100	前月比 (%)	平成17年 =100	前年同月 比(%)
鉱 工 業 (10000.0)	96.0	9.7	100.8	2.9
食 料 品 (2249.0)	88.5	20.5	99.9	1.1
一 般 機 械 (1254.7)	125.8	11.3	132.0	8.5
電 子 部 品・デ バ イ ス (1106.8)	129.9	2.4	139.0	6.5
鉄 鋼 (1008.6)	99.8	2.8	94.8	15.0
パ ル プ・紙 (807.5)	86.9	6.5	94.8	39.6
電 気 機 械 (550.4)	90.4	5.9	106.6	31.4

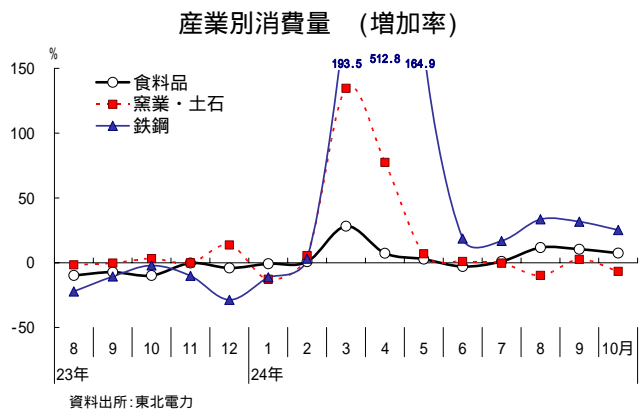
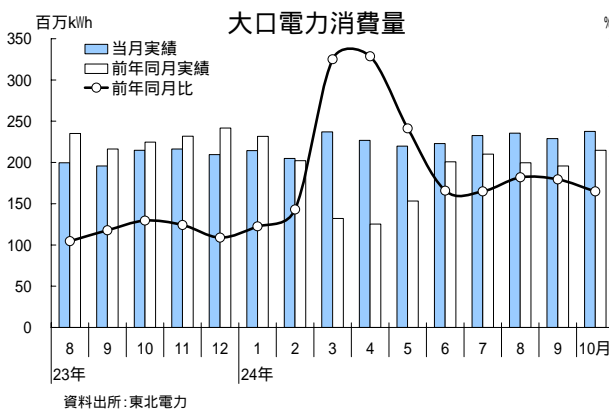
資料出所: 県統計分析課

### 大口電力

### 大口電力消費量、9ヶ月連続のプラス

10月の県内大口電力消費量は、前年同月比10.7%増の2億3,775万kWhとなり、9ヶ月連続のプラスとなった。うち製造業は同13.5%増の1億7,518万kWhとなった。製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、パルプ・紙が同27.4%増、消費ウェイトの高い鉄鋼が同25.3%増、食料品が同7.5%増、機械が同3.4%増、化学が同1.8%増となった。一方、非鉄金属は同9.1%減、窯業・土石は同6.7%減となった。

県内大口電力消費量は鉄鋼、食料品が堅調に推移しているほか、パルプ・紙で持ち直しの動きがみられた。

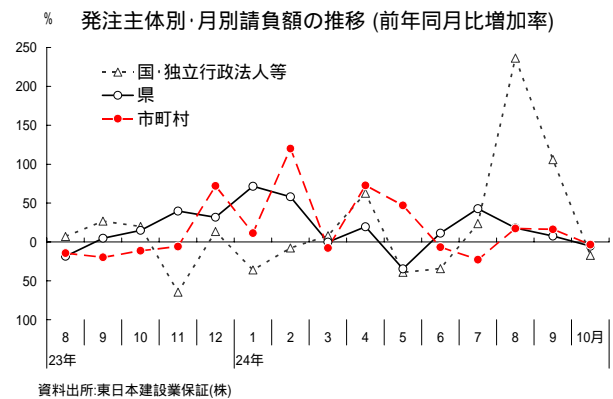
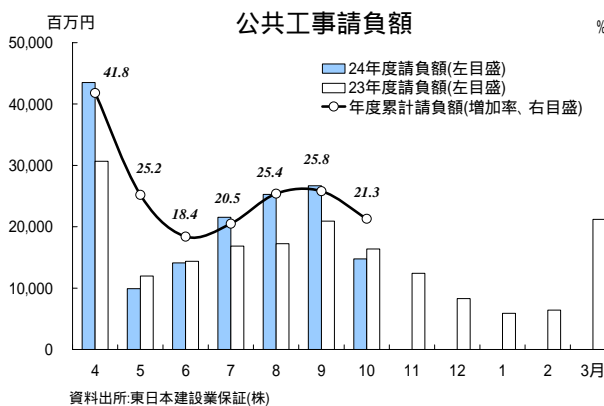


## 公共工事

### 公共工事請負額、4ヶ月ぶりのマイナス

10月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比9.9%減の147億7,100万円となった。当月の請負額は、国が国土交通省、防衛省の減少により同22.4%減の39億2,000万円と大幅に減少したほか、県が農林水産部関連で上北地域県民局、三八地域県民局などの減少により同5.3%減の53億3,100万円、市町村が三沢市、弘前市などの減少により同3.4%減の48億1,400万円となった。一方、独立行政法人等は弘前大学関連の増加により同約4倍の3億2,600万円となった。

当月の公共工事請負額は、国関連が前年同月に比べ約11億円落ち込み、全体を押し下げたことなどから、4ヶ月ぶりのマイナスとなった。

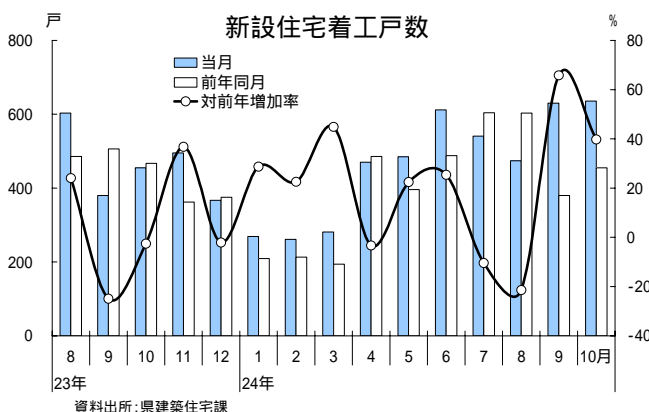


## 住宅着工

### 2ヶ月連続のプラス、持家、貸家が大幅増

10月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比39.8%増の636戸と2ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同21.2%増、貸家が同75.0%増とそれぞれ前年同月を大幅に上回ったほか、給与住宅、分譲住宅も増加した。地域別にみると、弘前市、八戸市、五所川原市、十和田市、郡部で大幅に増加したほか、黒石市、つがる市でも幾分増加した。一方、青森市、三沢市、むつ市で減少がみられ、平川市は横バイとなった。持家は青森市、黒石市、十和田市、三沢市、郡部で大幅に増加した。貸家は弘前市、八戸市(2市で87戸増)、十和田市、郡部で大幅に増加した。分譲住宅は十和田市、むつ市などで増加した。

当月の県内住宅着工戸数は持家、貸家が大幅に増加し、全体を押し上げた。年間累計着工戸数(1~10月)は前年同期比15.7%増の4,659戸となった。



利用関係別戸数

(単位:戸,%)

	24年 10月	23年 10月	前年 同月比
持家	320	264	21.2
貸家	266	152	75.0
給与住宅	6	0	-
分譲住宅	44	39	12.8
総戸数	636	455	39.8

資料出所:県建築住宅課

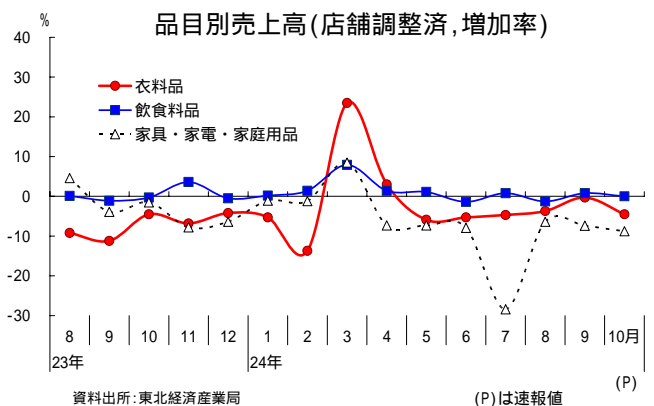
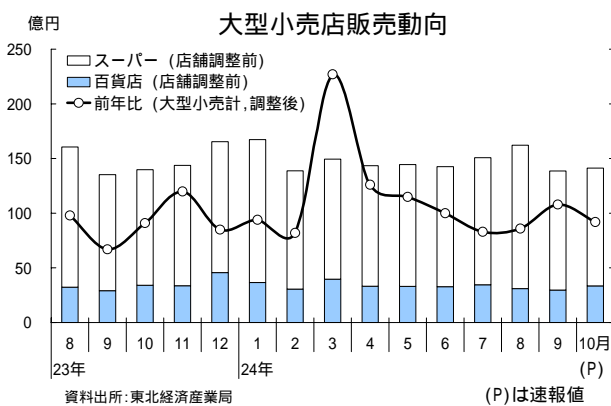


## 三次産業

### 大型小売店販売

### 再びマイナス、前年同月比 0.8%減

10月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 0.8%減となり再びマイナスに転じた。業態別では百貨店が同 1.5%減、スーパーが同 0.6%減となった。品目別では、衣料品が同 4.5%減、家具・家電・家庭用品が同 8.8%減となった。一方、ウエイトの高い飲食料品が同横バイ、身の回り品は同 18.6%増となった。衣料品は紳士服で動きがみられたものの、婦人服、子供服などが伸び悩んだ。家具・家電・家庭用品は、家具類が好調であったものの、家電製品の落ち込みが目立った。飲食料品は生鮮食品で動きがみられたものの、菓子、飲料などがやや不振であった。身の回り品は旅行用品、雑貨などが好調であった。

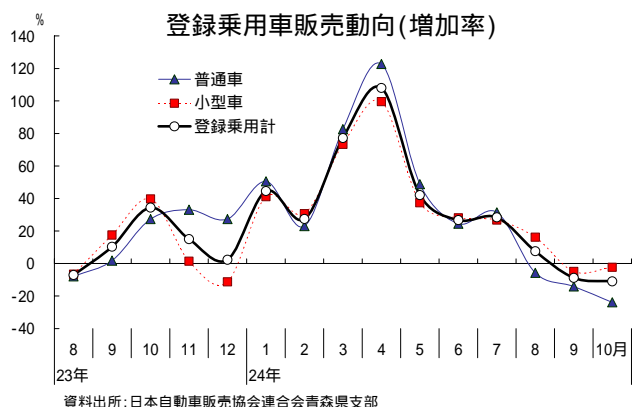
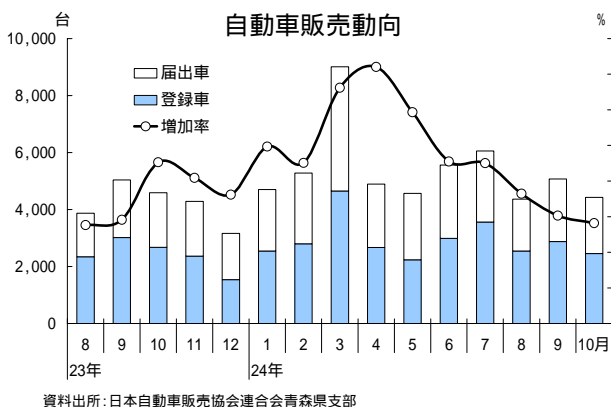


### 自動車販売

### 13ヶ月ぶりのマイナス、登録乗用車が落ち込む

10月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 3.6%減の 4,427 台となり、13ヶ月ぶりのマイナスとなった。内訳にみると、登録車は貨物車が同 13.0%増となったものの、普通乗用車は同 23.9%減、小型乗用車は同 2.3%減となり、登録車合計では同 8.2%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。届出車は貨物車が同 6.7%減となったものの、乗用車が同 6.8%増となり、届出車合計では同 2.9%増と13ヶ月連続のプラスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 11.0%減となり、全体では同 4.4%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。

県内の自動車販売は、登録乗用車の落ち込みが目立っており、全体の販売台数を押し下げている。

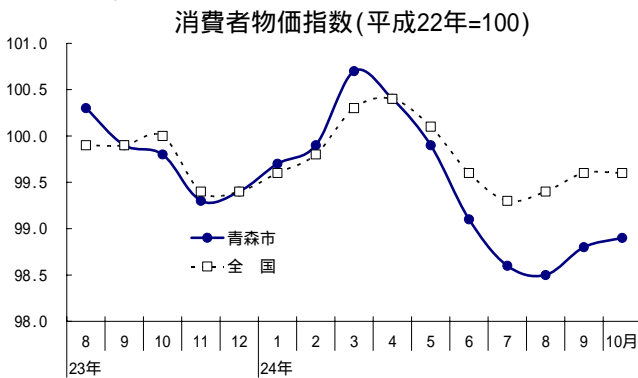


消費者物価指数

前月比 0.1%上昇の 98.9

10月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.1%上昇、前年同月比0.9%下落の98.9となり、2ヶ月連続で上昇した。主要費目別に前月と比べると、家具・家事用品が家事用消耗品、室内装備品などの値上がりにより1.1%上昇、「交通・通信」がガソリンなどの値上がりにより0.6%上昇した。一方、「被服及び履物」はシャツ・セーター類などの値下がりにより0.2%下落した。前年同月との比較では「水道・光熱」(2.3%)、「交通・通信」(1.0%)、「食料」(3.1%)、「教養娯楽」(2.0%)、「住居」(1.3%)、「家具・家事用品」(1.2%)などの変動が大きかった。

なお、「生鮮食品を除く総合指数」は99.4となり、前月比0.2%上昇、前年同月比0.4%下落となった。



資料出所:県統計分析課

費目別指数の動き(平成24年10月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	98.9	0.1	0.9
食料	96.7	0.0	3.1
住居	98.1	0.0	1.3
光熱・水道	108.2	0.1	2.3
家具・家事用品	93.8	1.1	1.2
被服及び履物	101.2	0.2	0.0
保健医療	99.3	0.1	0.5
交通・通信	102.2	0.6	1.0
教育	96.7	0.0	0.0
教養娯楽	92.1	0.2	2.0
諸雑費	103.8	0.1	0.3

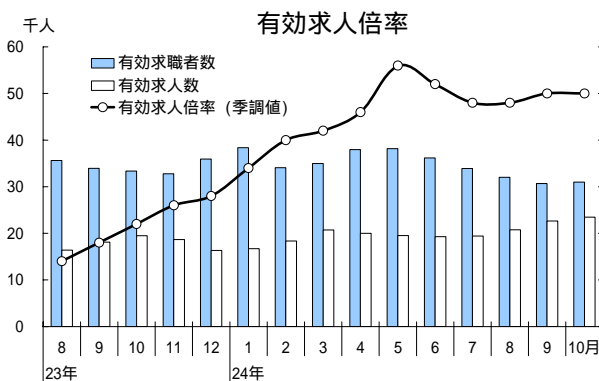
資料出所:県統計分析課

雇用動向

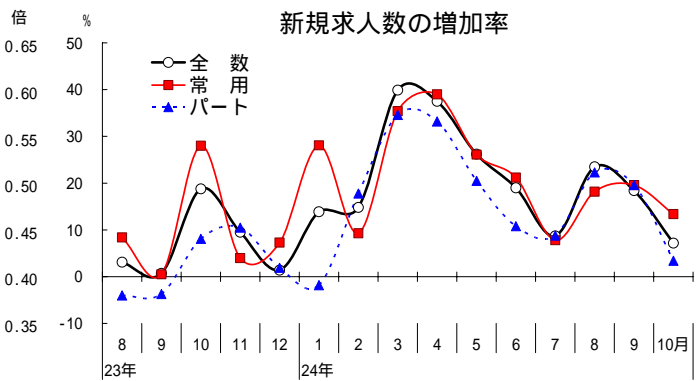
有効求人倍率、前月比横バイの 0.60 倍

10月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比20.6%増の2万3,463人、有効求職者数は同7.2%減の3万962人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比横バイの0.60倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比13.4%増、臨時・季節求人数が同2.3%減、パート求人数が同3.4%増となり、全数では同7.2%増となった。主要産業別の新規求人動向では情報通信業、学術研究、専門・技術サービス業などで減少したものの、卸・小売業、飲食店、医療業、社会保険・社会福祉・介護事業などで増加がみられた。

県内の雇用情勢は、新規求人数が19ヶ月連続のプラス、有効求人数も33ヶ月連続のプラスとなり、緩やかな改善の動きが続いている。



資料出所:青森労働局



資料出所:青森労働局



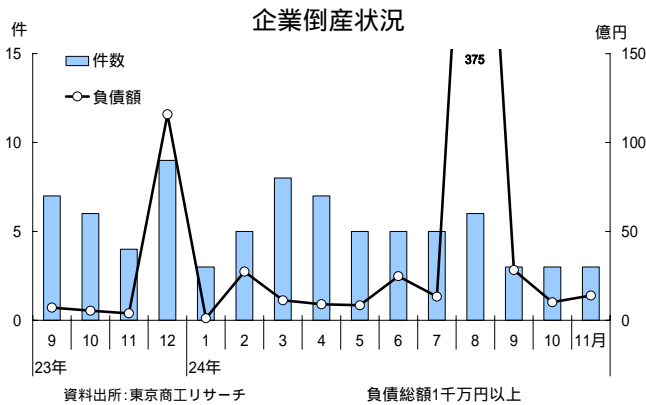
## 企業倒産

### 大口倒産 1 件発生、負債総額 13 億 9,500 万円

11 月の県内企業倒産は、件数が前年同月比 1 件減の 3 件、負債総額は同 10 億 200 万円増の 13 億 9,500 万円となった。前月比では件数が横バイ、負債総額は 3 億 8,100 万円増となった。

倒産の内訳をみると、業種別では建設業、製造業、小売業が各 1 件となった。地域別では青森市が 2 件、下北郡が 1 件となった。倒産要因は 3 件とも販売不振によるものであった。

県内の企業倒産は、倒産件数が 20 ヶ月連続の 1 ケタ台となり、小康状態が続いている。一方、負債総額は 10 億円を超える大口倒産が 1 件発生し、全体を押し上げた。



### 業種別・原因別件数 (平成24年11月)

業 種	件 数
一次産業・鉱業	
建設業	1
製造業	1
卸売業	
小売業	1
不動産業	
運輸・通信業	
サービス業ほか	
合 計	3

資料出所: 東京商工リサーチ  
(負債総額1千万円以上)

原 因	件 数
放漫経営	
過小資本	
他社倒産の余波	
既往のシワ寄せ	
信用低下	
販売不振	3
売掛金回収難	
在庫状況悪化	
設備投資過大	
その他	
合 計	3

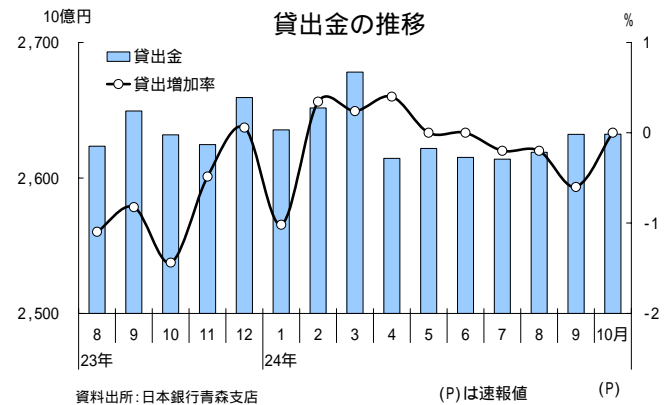
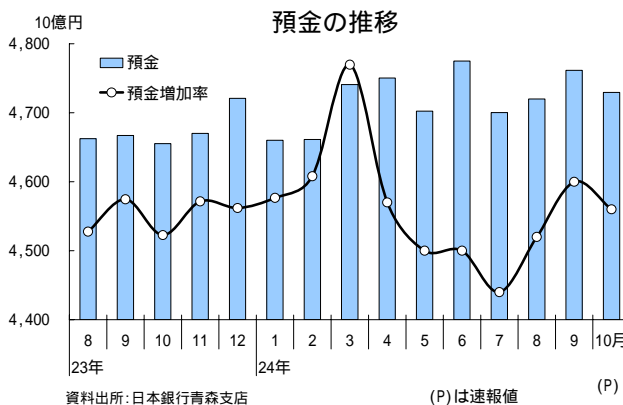
## 金融動向

### 貸出金、前年同月比横バイ

10 月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比 1.6%増の 4 兆 7,295 億円、貸出金は同横バイの 2 兆 6,322 億円となった。

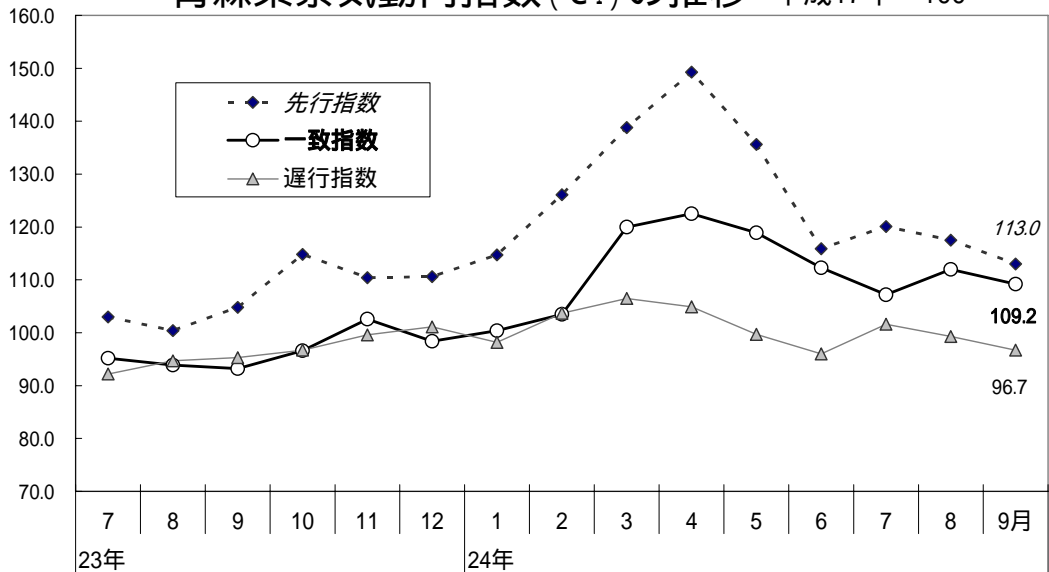
預金は個人預金、法人預金のプラス幅が縮小したことから、預金全体のプラス幅は前月比 0.4 ポイント縮小した。

一方、貸出金は一般法人向けのマイナス幅が縮小したほか、地公体向けのプラス幅が拡大した。この結果、貸出金全体のマイナス幅は前月比横バイとなり、前年並みとなった。



# 青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成17年 = 100



資料出所: 県統計分析課

## 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを、マイナスを で表  
下段: 寄与度

採用系列名	24年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
1. 大型小売店販売額(既存店)	1.77	0.45	0.57	0.61	0.10	0.76
2. 旅行取扱高	3.06	3.25	3.36	0.37	1.57	2.45
3. 鉱工業生産指数	0.28	0.61	0.82	1.50	2.23	1.96
4. 大口電力使用量	0.78	2.21	2.30	0.11	1.70	0.07
5. 有効求人倍率(全数)	1.30	1.88	1.47	1.37	0.09	0.53
6. 輸入通関実績(八戸港)	2.62	1.79	2.93	1.45	1.28	1.44
7. 東北自動車道IC利用台数	2.20	0.78	0.27	0.33	0.52	1.68

資料出所: 県統計分析課

## 景気動向指数(CI: Composite Index)とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

## 国内景気

### 概況

国内景気は、世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっている。個人消費は弱い動きとなっている。生産は減少している。輸出は弱含んでおり、輸入は横バイとなっている。公共投資は堅調に推移している。設備投資は弱含んでいる。雇用情勢は依然として厳しさが残る中で、このところ改善の動きに足踏みがみられる。消費者物価はわずかながら下落している。

#### 大型小売店販売（既存店ベース）

##### - 7ヶ月連続のマイナス -

10月の大型小売店販売は前年同月比3.2%減と7ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同2.2%減、スーパーが同3.7%減となった。商品別にみると、衣料品が同4.0%減、飲食料品が同2.6%減、その他商品が同3.6%減となった。

#### 住宅建設

##### - 2ヶ月連続のプラス -

10月の新設住宅着工戸数は前年同月比25.2%増の8万4,251戸と2ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同13.0%増、貸家が同48.2%増、分譲住宅が同14.2%増とそれぞれ2ヶ月連続のプラスとなった。

#### 企業倒産

##### - 倒産件数、5ヶ月ぶりに前年を上回る -

10月の企業倒産は、件数が前年同月比6.0%増の1,035件、負債総額は同53.5%増の2,394億円となった。倒産件数は5ヶ月ぶりに前年を上回った。また、負債10億円以上の大型倒産が今年最多の48件発生し、負債総額は3ヶ月ぶりに前年を上回った。

#### 為替動向

##### - 11月末終値、82円62銭 -

11月の東京為替市場は79円後半でスタート。月半ばまでは80円を挟んだ動きが続いた。14日に野田首相の衆院解散発言後、自民党の安倍総裁が日銀への金融緩和や政策金利に言及したことなどから円売り・ドル買いが進み、円安基調となる。下旬は安倍総裁が脱デフレに向けて日銀の2%インフレ目標への必要性に言及したことなど円売りの動きが続き82円台で推移。

#### 鉱工業生産指数

##### - 前月比1.8%上昇の88.1 -

10月の鉱工業生産指数は前月比1.8%上昇の88.1(季節調整値)となった。電子部品・デバイス工業、金属製品工業等が上昇に寄与した。品目別ではモス型半導体集積回路(メモリ)、アクティブ型液晶素子(中・小型)等であった。なお、生産予測調査によると、11月は輸送機械工業、情報通信機械工業等の低下により当月比0.1%低下を予測。

#### 新車販売（除く軽自動車）

##### 3ヶ月連続のマイナス

11月の国内新車販売は前年同月比3.3%減の24万3,974台と3ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別では、乗用車が同3.3%減、貨物車が同2.8%減となった。乗用車は小型乗用車が同8.4%増とプラスに転じたものの、普通乗用車は同13.7%減と3ヶ月連続のマイナス。

#### 完全失業率

##### 前月比横バイの4.2%

10月の完全失業率は前月比横バイの4.2%となった。完全失業者数は前年同月比18万人減の271万人となり、29ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が同5万人増の101万人、リストラ等勤め先都合は同13万人減の65万人などとなった。

#### 消費者物価指数

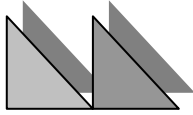
##### - 前月比横バイの99.6 -

10月の全国消費者物価指数(2010年=100)は99.6となり、前月比横バイ、前年同月比0.4%下落となった。前月に比べ被服及び履物などが上昇した一方、教養娯楽などが下落した。生鮮食品を除く総合指数は99.8となり、前月比、前年同月比とも横バイとなった。

#### 国際収支

##### - 黒字幅縮小、前年同月比29.4%減 -

10月の経常収支額は黒字幅が縮小し、前年同月比29.4%減の3,769億円となった。所得収支の黒字幅が拡大したものの、貿易収支、サービス収支、経常移転収支の赤字幅が拡大した。内訳は、貿易収支が4,503億円、サービス収支が3,568億円、経常移転収支が596億円のそれぞれ赤字となった。一方、所得収支は1兆2,436億円の黒字となった。

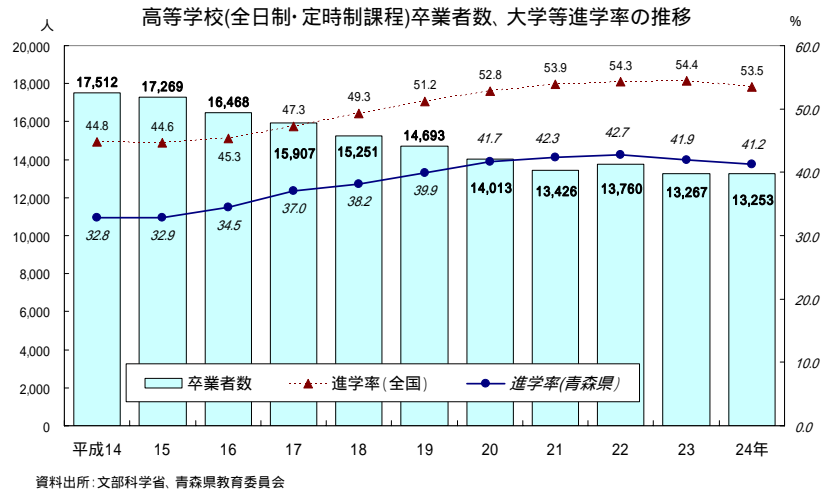


# 今月の統計

## 青森県の大学等進学状況

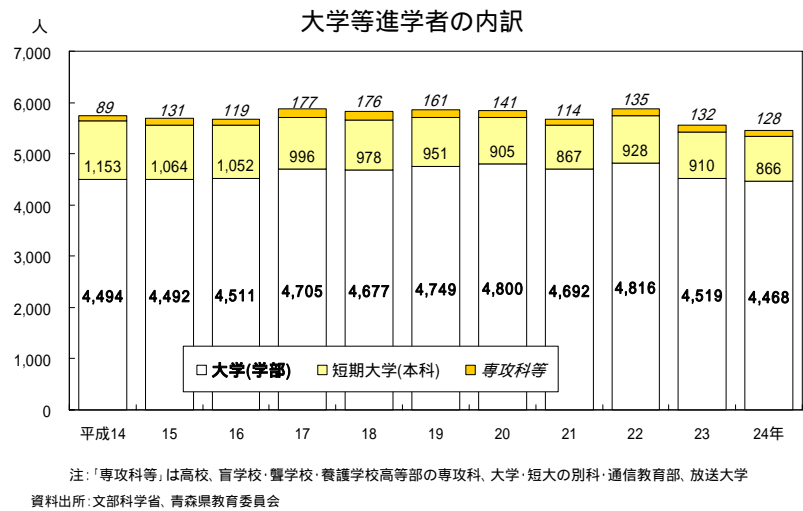
文部科学省がまとめた「学校基本調査」および青森県教育委員会がまとめた「高等学校等卒業生の進路状況」(平成24年5月1日現在)によると、平成24年3月高等学校(全日制・定時制課程)卒業生数は前年比14人減の1万3,253人、うち大学等進学者数は同99人減の5,462人であった。大学等進学率は同0.7ポイント低下の41.2%となり、2年連続で低下した。

本県の大学等進学率の全国順位は47都道府県中43位であり、全国平均の53.5%を12.3ポイント下回った。



平成24年3月高等学校卒業生の大学等進学者の内訳をみると、大学(学部)への進学者数が前年比51人減の4,468人、短期大学(本科)への進学者数が同44人減の866人、専攻科等への進学者数が同4人減の128人と、それぞれ前年を下回った。卒業生数に占める割合は大学が33.7%、短大が6.5%、専攻科等が1.0%となった。

大学(学部)及び短期大学(本科)への入学志願状況をみると、志願者数は前年比121人減の5,854人、進学者数は同95人減の5,334人となった。入学志願率は同0.8ポイント低下の44.2%、入学率は同0.2ポイント上昇の91.1%となった。



大学(学部)、短期大学(本科)の入学志願率・入学率の推移

	卒業生数 (人)	入学志願者数 (人)	進学者数 (人)	入学志願率 (%)	入学率 (%)
平成19年3月	14,693	6,301	5,700	42.9	90.5
20年3月	14,013	6,239	5,705	44.5	91.4
21年3月	13,426	5,986	5,559	44.6	92.9
22年3月	13,760	6,259	5,744	45.5	91.8
23年3月	13,267	5,975	5,429	45.0	90.9
24年3月	13,253	5,854	5,334	44.2	91.1

資料出所: 文部科学省、青森県教育委員会

県内経済

2日 秋の褒章、本県関係者は11人

政府は2012年秋の褒章受章者を発表した。受賞者は712人で、本県関係者ではロンドン五輪金メダリストの伊調馨さん、小原日登美さんら11人が受章した。

19日 県教育委員会、高校3校の閉校を決定

県教育委員会は教育委員会臨時会を開き、「県立高校教育改革第3次実施計画」の後期案(2014~17年度)について、弘前実業高校藤崎校舎、岩木高校、八戸北高校南郷校舎の3校を統廃合することを最終決定した。

22日 来春の大卒者の内定率51.5%

青森労働局は、来春県内の大学を卒業する学生の就職内定状況(10月末現在)を発表した。4年制大学の内定率は前年同月比1.6ポイント増の51.5%と、3年ぶりに50%を上回った。また、短大の内定率も同5.4ポイント増の27.8%となった。

26日 10月の八戸税関管内の貿易額、2ヶ月連続のマイナス

八戸税関支署が発表した管内の10月の外国貿易概況(速報値)によると、実績があったのは八戸港のみで、輸出入合計の貿易額は前年同月比24.6%減の203億6,700万円となり、2ヶ月連続のマイナスとなった。

29日 2013年産米の本県生産目標、前年比0.1%減

農林水産省が発表した2013年産米の都道府県別生産数量目標によると、全国の生産目標は前年産比0.3%減(2万トン減)の791万トンとなった。うち本県は同0.1%減(350トン減)の25万9,220トンとなった。

国内経済

8日 街角景気、3ヶ月連続で悪化

内閣府が発表した10月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比2.2ポイント低下の39.0となり、3ヶ月連続で悪化した。また、先行き判断指数も同1.8ポイント低下の41.6となり、6ヶ月連続で低下した。

9日 国の借金983兆2,950億円、過去最高を更新

財務省の発表によると、9月末の国債と借入金、政府短期証券を合わせた「国の借金」は983兆2,950億円となり、過去最高を更新した。また、国民1人当たりの借金の額は約771万円の計算となる。

12日 7-9月期のGDP、3・四半期ぶりのマイナス成長

内閣府が発表した7-9月期の国内総生産(GDP)速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比0.9%減、年率換算で3.5%減となり、3・四半期ぶりのマイナス成長となった。

16日 景気の基調判断、3ヶ月連続で下方修正

前原経済財政担当相は11月の月例経済報告を関係閣僚会議に提出した。景気の基調判断については「世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっている」とし、4ヶ月連続で下方修正した。

衆議院解散、12月16日総選挙

衆議院は16日午後の本会議で解散された。同日の臨時閣議で衆院選の日程を「12月4日公示、12月16日投開票」と決定した。

21日 生活保護受給、過去最多の213万1,011人

厚生労働省の発表によると、全国で生活保護を受けている人は8月末時点で213万1,011人となり、4ヶ月連続で過去最多を更新した。

22日 4~9月のいじめの件数、14万4,054件

文部科学省の緊急調査によると、2012年4~9月の半年間に全国の小中学校が把握したいじめの件数は14万4,054件で、2011年度の約7万件を大幅に上回った。うち、青森県は716件(11年度は791件)となった。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券 平均発行高 (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2005年 = 100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2006(H18)	744,033	528,667	415,577	1.766	13,245	55,006	104.3	1,290,391	95,710	211,450
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	107.4	1,060,741	92,265	211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	103.8	1,093,519	95,815	209,511
2009(H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	81.1	788,410	98,966	197,758
2010(H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	94.4	813,126	87,316	195,791
2011(H23)	792,805	598,688	425,858	1.437	12,734	35,929	92.2	834,117	86,657	195,933
2011(H23) 8	789,717	590,572	418,217	1.496	1,026	7,940	94.6	81,986	7,751	15,574
9	788,044	594,121	424,064	1.473	1,001	2,123	92.8	64,206	11,141	14,728
10	787,220	591,365	420,682	1.474	976	1,559	94.5	67,273	9,364	16,057
11	789,721	596,515	420,770	1.469	1,095	1,877	92.9	72,635	6,746	16,370
12	815,720	598,668	425,858	1.452	1,032	3,567	95.0	69,069	7,717	20,910
2012(H24) 1	812,462	596,371	422,359	1.452	985	3,494	95.9	65,984	5,725	17,383
2	798,710	597,558	423,739	1.442	1,038	6,313	94.4	66,928	7,694	14,659
3	804,460	611,205	430,289	1.428	1,161	3,339	95.6	66,597	14,373	16,032
4	806,725	607,936	425,590	1.424	1,004	2,290	95.4	73,647	3,996	15,664
5	807,450	607,195	423,633	1.421	1,148	2,826	92.2	69,638	5,309	15,753
6	802,079	609,717	426,567	1.409	975	1,816	92.6	72,566	8,160	15,682
7	809,465	604,151	425,035	1.403	1,026	7,241	91.7	75,421	9,060	17,123
8	808,736	603,259	424,583	1.401	967	2,166	90.2	77,500	9,801	15,568
9	806,118			1.385	931	1,746	86.5	74,176	10,562	14,705
10	807,704			1.383	1,035	2,394	P 88.1	84,251	9,748	P 15,676
前月比 %	0.2	-0.1	-0.1	-0.002% 引	11.2	37.1	1.8	13.6	-7.7	1.1
前年同月比%	2.6	2.1	1.5	-0.091% 引	6.0	53.5	-4.3	25.2	4.1	-3.2
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省	経済産業省	

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年 = 100	消費者 物価指数 2010年 = 100	景気動向 指数 (一致) 2005年 = 100	完全 失業率 (季調済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月中平均) (円 / US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年 = 100)
2006(H18)	4,642	99.3	100.7	-	4.1	17,225.83	198,488	895,320	116.31	158.921
2007(H19)	4,400	101.1	100.7	-	3.8	15,307.78	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010(H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011(H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.5	8,455.35	96,289	1,295,841	79.76	165.195
2011(H23) 8	273	102.1	99.9	92.9	4.4	8,955.20	4,363	1,218,501	77.22	174.503
9	392	101.9	99.9	92.5	4.2	8,700.29	16,107	1,200,593	76.84	168.897
10	321	101.1	100.0	93.4	4.4	8,988.39	5,339	1,209,882	76.77	169.095
11	324	101.0	99.4	92.5	4.5	8,434.61	1,261	1,304,763	77.54	166.651
12	290	101.0	99.4	94.7	4.5	8,455.35	2,657	1,295,840	77.85	165.195
2012(H24) 1	359	100.9	99.6	94.8	4.6	8,802.51	-4,556	1,306,668	76.97	169.100
2	449	101.1	99.8	95.8	4.5	9,723.24	12,026	1,302,877	78.45	171.372
3	641	101.6	100.3	97.4	4.5	10,083.56	13,074	1,288,703	82.43	173.106
4	306	101.7	100.4	97.3	4.6	9,520.89	3,735	1,289,542	81.49	172.526
5	338	101.2	100.1	96.3	4.4	8,542.73	3,421	1,277,716	79.70	166.968
6	433	100.5	99.6	94.9	4.3	9,006.78	4,221	1,270,547	79.32	164.232
7	445	100.0	99.3	93.8	4.3	8,695.06	P 6,254	1,272,777	79.02	163.420
8	316	100.2	99.4	93.5	4.2	8,839.91	P 4,574	1,273,242	78.66	164.424
9	378	100.4	99.6	91.5	4.2	8,870.16	P 5,036	1,277,000	78.17	166.262
10	299	P 100.1	99.6	P 90.6	P 4.2	8,928.29	P 3,769	1,274,160	78.97	163.824
前月比 %	-20.8	-0.3	0.0	-0.9% 引	0.0% 引	0.7	-	-0.2	1.0	-1.5
前年同月比%	-6.7	-1.0	-0.4	-	-0.2% 引	-0.7	-29.4	5.3	2.9	-3.1
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

日経平均株価は年末、月末の終値ベース



# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2006(H18)	1,434,936	-9,224	-372	43,241	27,627	119	34,015	768,362	1,499
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010(H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011(H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2011(H23) 9	1,363,591	-110	-49	46,671	26,494	7	713	41,548	65
10	1,363,038	35	-130	46,551	26,318	6	536	41,005	16
11	1,362,455	-48	-101	46,701	26,246	4	393	39,264	9
12	1,361,835	-56	-536	47,209	26,593	9	11,591	36,838	2
2012(H24) 1	1,361,053	-236	341	46,601	26,355	3	114	47,397	40
2	1,360,012	-320	-125	46,614	26,517	5	2,741	40,687	43
3	1,358,799	-4,869	-110	47,408	26,781	8	1,124	34,744	15
4	1,353,174	202	-185	47,504	26,145	7	906	44,482	49
5	1,352,715	-34	111	47,023	26,218	5	843	50,572	119
6	1,352,007	34	-218	47,748	26,151	5	2,480	31,877	14
7	1,351,462	-46	-57	47,003	26,139	5	1,330	44,160	32
8	1,350,937	134	-122	47,199	26,190	6	37,514	40,194	18
9	1,350,523	-110	-43	47,615	26,322	3	2,828	32,511	14
10	1,349,968	82	-193	P 47,295	P 26,322	3	1,014	47,412	28
11	1,349,294		-149			3	1,395		
前月比 %	-0.0	-	-	-0.7	0.0	0.0	37.6	45.8	109.5
前年同月比%	-1.0	-	-	1.6	0.0	-25.0	255.0	15.6	74.2
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数  
 実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

日銀券の年次計数は年度累計  
 手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2006(H18)	104.2	7,574	4,316	2,760	840	187,569	68,377	0.65	0.44
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.70	0.48
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	88.1	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010(H22)	100.4	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011(H23)	97.1	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2011(H23) 9	97.9	380	257	104	43	20,926	11,129	0.70	0.44
10	100.1	455	264	152	47	16,390	5,628	0.82	0.46
11	109.2	495	286	187	49	12,413	3,819	0.76	0.48
12	103.4	367	218	121	37	8,296	2,988	0.82	0.49
2012(H24) 1	98.1	269	104	146	23	5,887	2,211	0.80	0.52
2	108.0	261	95	82	25	6,416	1,094	0.94	0.55
3	107.9	281	157	99	29	21,196	4,647	0.80	0.56
4	109.0	470	293	144	50	43,499	6,392	0.95	0.58
5	106.6	485	303	154	51	9,908	1,598	0.93	0.63
6	103.3	612	372	213	66	14,104	4,564	0.83	0.61
7	97.2	541	355	115	60	21,531	6,653	0.89	0.59
8	106.3	474	336	120	53	25,262	7,651	0.93	0.59
9	P 96.0	630	439	164	71	26,697	11,988	0.91	0.60
10		636	320	266	61	14,771	5,331	0.90	0.60
前月比 %	-9.7	1.0	-27.1	62.2	-14.0	-44.7	-55.5	-0.01% イト	0.00% イト
前年同月比%	-2.9	39.8	21.2	75.0	30.1	-9.9	-5.3	0.08% イト	0.14% イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による  
 公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2006(H18)	175,587	30,755	46,385	100.3	299,079	-	21,959	-	-
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	100.0	286,305	-	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,926	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,425	-	-
2011(H23) 9	13,526	3,013	4,051	99.9	257,983	9,235	1,060	-	-
10	13,981	2,674	3,697	99.8	286,807	8,401	865	49.0	} -8.9
11	14,384	2,367	3,222	99.3	275,235	8,001	901	-	
12	16,538	1,540	2,387	99.4	322,771	8,350	913	-	
2012(H24) 1	16,733	2,545	3,797	99.7	283,991	14,796	2,297	49.5	} 6.4
2	13,882	2,797	4,263	99.9	249,716	9,778	1,250	-	
3	14,954	4,650	7,206	100.7	296,413	8,332	1,016	-	} 10.1
4	14,352	2,667	4,036	100.4	302,171	8,293	948	47.8	
5	14,455	2,231	3,717	99.9	272,272	10,179	1,288	-	
6	14,261	2,991	4,616	99.1	240,529	9,234	1,020	-	} -3.5
7	15,071	3,562	4,999	98.6	264,972	9,334	1,003	50.3	
8	16,224	2,544	3,474	98.5	280,611	9,292	1,114	-	
9	13,859	2,875	4,022	98.8	286,719	7,896	838	-	} 44.0
10	P 14,129	2,455	3,534	98.9	268,574	7,576	833	-	
前月(期)比%	-	-14.6	-12.1	0.1	-6.3	-4.1	-24.7	-6.3ポイント	-13.6ポイント
前年同月(期)比%	-0.8	-8.2	-4.4	-0.9	-6.4	-9.8	-3.7	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2006(H18)	294,887	288	173	166,437	24,155	12,033	79,281	101,020	143,467
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2011(H23) 9	20,807	240	146	19,716	2,920	508	1,664	7,053	15,092
10	20,242	305	219	20,160	3,260	572	2,566	16,085	10,943
11	20,215	327	214	25,544	3,407	593	2,118	11,879	9,221
12	23,092	360	220	11,237	2,080	260	2,048	6,742	11,143
2012(H24) 1	26,530	346	227	4,524	1,059	556	2,029	7,514	8,034
2	25,365	351	256	3,370	733	511	2,826	8,681	10,499
3	23,252	375	270	3,449	935	261	4,260	17,741	10,449
4	18,898	391	297	1,386	369	548	2,474	8,059	10,639
5	16,413	413	-	4,619	1,028	615	3,550	10,543	10,520
6	11,130	435	-	1,144	200	984	1,319	7,479	8,784
7	7,291	487	-	7,440	1,278	546	1,183	4,902	11,002
8	1,825	526	-	24,688	3,498	520	1,892	11,109	10,184
9	16,052	299	171	22,576	2,155	455	1,678	7,985	8,370
10	24,727	246	162	12,995	2,086	691	1,018	9,545	10,823
前月比 %	54.0	-17.7	-5.3	-42.4	-38.4	51.9	-39.3	19.5	29.3
前年同月比%	22.2	-19.3	-26.0	-35.5	-36.0	20.8	-60.3	-40.7	-1.1
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (℃)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2011(H23)	10.6	1,570.5	1,541.9	16,435
2011(H23) 9	20.4	345.0	131.2	1,493
10	13.3	96.5	150.9	1,798
11	8.1	148.5	91.2	1,554
12	0.0	211.0	31.5	1,398
2012(H24) 1	-2.6	143.0	47.2	1,847
2	-2.5	114.5	65.2	1,512
3	1.8	101.5	101.0	1,493
4	7.2	70.0	182.4	1,521
5	13.5	58.5	181.0	1,590
6	17.0	21.0	218.4	1,466
7	21.9	243.0	195.7	1,640
8	25.3	47.5	228.2	2,291
9	23.5	76.0	201.3	1,517
10	14.4	115.0	160.3	1,471
前月比 %	-9.1	39.0ml	-41.0h	-3.0
前年同月比 %	1.1	18.5ml	9.4h	-18.2
資料出所	気象庁			外務省

県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2010 (H22)			
1~3月	-31.6	-12.8	-35.8
4~6月	-42.6	-23.8	-32.1
7~9月	-34.5	-17.4	-8.5
10~12月	-22.6	-34.1	-9.1
2011 (H23)			
1~3月	-20.7	-31.6	-33.3
4~6月	-10.3	-33.3	-30.4
7~9月	-12.0	-43.6	-15.3
10~12月	2.5	-25.0	-6.3
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	-23.4	-31.6	-5.3
資料出所	青森銀行BSI('12.10~12月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2011(H23) 9	298,140	182,619	236,588	789	336	629	70	44	71
10	298,033	182,532	236,535	681	300	596	117	69	101
11	297,929	182,524	236,483	546	239	572	88	73	104
12	297,762	182,503	236,494	400	174	338	72	49	128
2012(H24) 1	297,618	182,487	236,434	563	379	571	49	33	55
2	297,348	182,339	236,390	671	304	617	37	80	88
3	297,074	182,157	236,339	1,298	560	873	58	41	56
4	296,012	180,917	235,464	605	288	645	128	67	121
5	296,247	181,543	235,444	580	212	520	101	55	136
6	296,154	181,524	235,405	714	345	616	174	65	165
7	296,070	181,400	235,401	954	351	840	163	66	119
8	296,053	181,262	235,562	646	303	495	117	86	94
9	295,957	181,241	235,609	661	354	673	137	115	176
10	295,683	181,275	235,562	622	273	532	116	112	159
11	295,562	181,210	235,621						
前月比 %	-0.0	-0.0	0.0	-5.9	-22.9	-21.0	-15.3	-2.6	-9.7
前年同月比 %	-0.8	-0.7	-0.4	-8.7	-9.0	-10.7	-0.9	62.3	57.4
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企 業 倒 産						
	青森市	弘前市	八戸市	青森市		弘前市		八戸市		
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2011(H23) 9	0.43	0.48	0.55	2	167	3	428	2	118	
10	0.45	0.49	0.65	2	242	3	194	0	0	
11	0.42	0.41	0.67	1	40	1	150	1	47	
12	0.32	0.31	0.56	2	1,400	1	18	0	0	
2012(H24) 1	0.32	0.30	0.48	1	46	0	0	1	48	
2	0.47	0.36	0.57	0	0	0	0	2	2,015	
3	0.52	0.43	0.61	2	98	2	350	1	170	
4	0.44	0.45	0.59	1	240	1	127	1	150	
5	0.42	0.43	0.61	4	693	0	0	0	0	
6	0.44	0.39	0.69	2	240	0	0	1	340	
7	0.45	0.46	0.69	1	100	0	0	2	560	
8	0.48	0.61	0.71	2	37,268	0	0	2	61	
9	0.51	0.73	0.78	0	0	1	28	2	2,800	
10	0.53	0.72	0.82	1	66	1	648	0	0	
11				2	1,242	0	0	0	0	
前月比 %	0.02 ポ イト	-0.01 ポ イト	0.04 ポ イト	100.0	1,781.8	-100.0	-100.0	-	-	
前年同月比 %	0.08 ポ イト	0.23 ポ イト	0.17 ポ イト	100.0	3,005.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店						

有効求人倍率は原数値による